

# 令和5年度平塚市下水道事業決算の概要

下水道が河川の水質保全、公衆衛生の向上や浸水防止など、快適な市民生活における重要なライフラインとしての機能を十分に発揮できるよう、効果的な施設整備と効率的な維持管理を行うとともに、将来にわたり安定的なサービスを提供するため、適正な事業運営に努めました。

## 《下水道事業の現況》

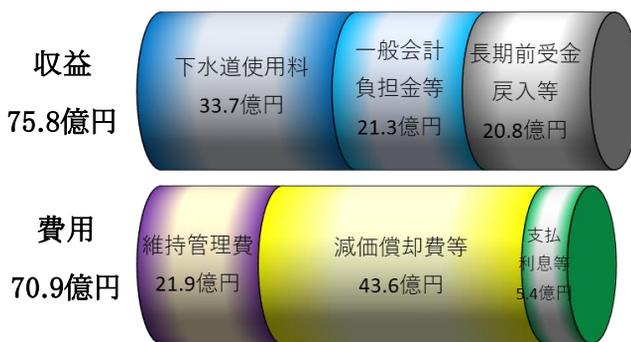
- ☑有収水量 2,859万<sup>3</sup>m (前年度比+33万<sup>3</sup>m。25mプール(600<sup>3</sup>m)に換算すると1日あたり131杯分)
- ☑維持管理 21.9億円(前年度比△2.9億円。税抜。損益計算書の営業費用から減価償却費等を除いた額)
- ☑設備投資 15.1億円(前年度比△10.0億円。税込。決算報告書の「資本的収入及び支出」の建設改良費の額)

## 《決算のポイント》

- ☑企業会計移行後8年連続で純利益を計上(当年度純利益4.9億円 対前年度+1.7億円)
- ☑収益が対前年度1.9億円の減(一般会計負担金等△2.9億円、下水道使用料+1.0億円、その他±0億円)
- ☑費用が対前年度3.6億円の減(管渠費・ポンプ場費△1.2億円、流域負担金△1.4億円、支払利息△0.5億円、その他△0.5億円)
- ☑建設改良費が対前年度10.0億円の減(ツインシティ大神地区公共下水道整備事業の減)

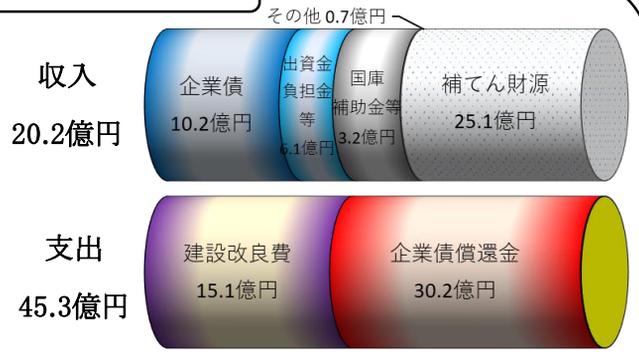
## 《収益的収支及び資本的収支の状況》

### 収益的収入及び支出



※収益的収入及び支出は、消費税及び地方消費税額を含まない額です。

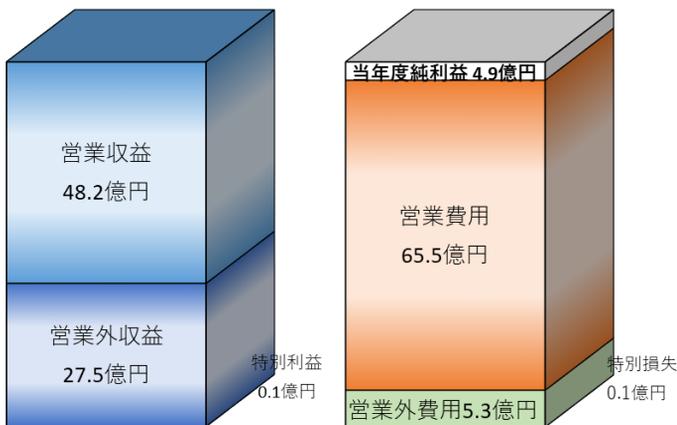
### 資本的収入及び支出



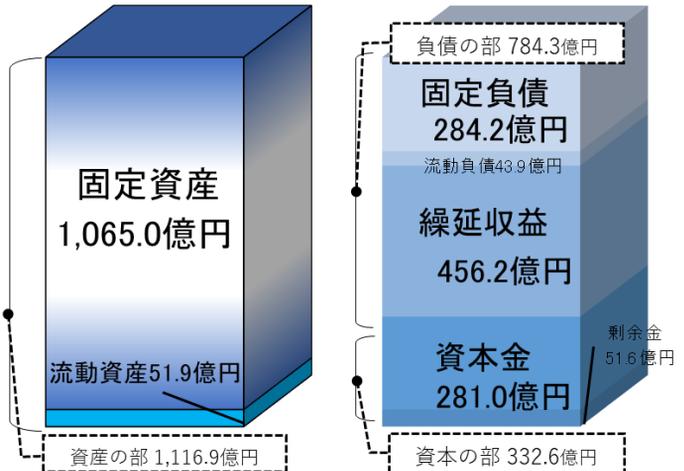
※資本的収入及び支出は、消費税及び地方消費税額を含む額です。

## 《財務諸表》

### 損益計算書



### 貸借対照表



### キャッシュフロー計算書

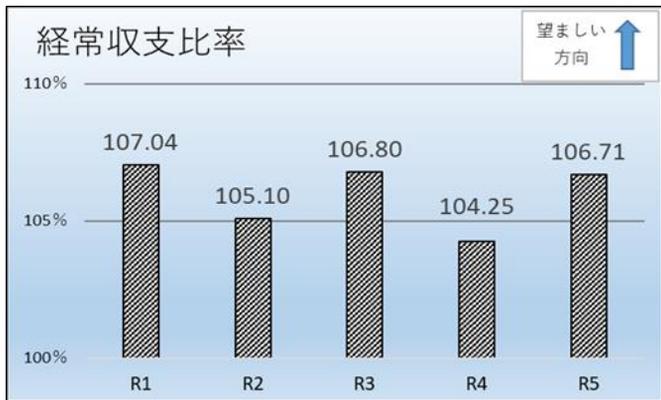


本資料の数値は、各表示単位で四捨五入して表記しているため、合計が一致しない場合があります。



# 経営指標等

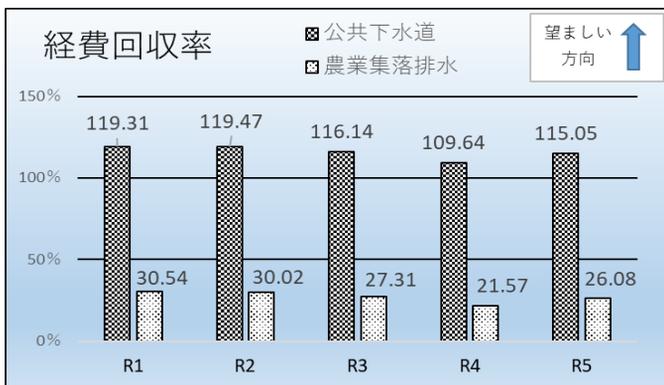
※類似団体平均値は、令和4年度数値。



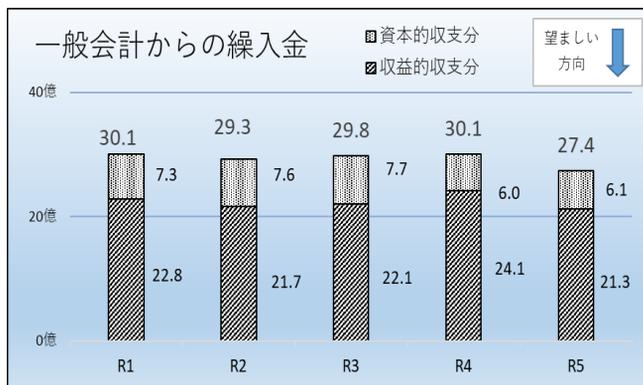
経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを示す指標。100%超を維持。当年度は収益以上に費用が減少し、前年度から2.46ポイントの増加。類似団体平均値：公共105.50%、農集105.93%



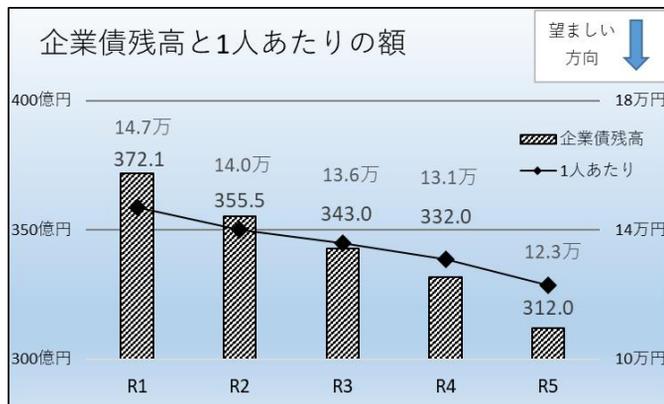
流動負債に対する支払い能力を示す指標。現金預金の確保と支払利息の減少により、理想値とされる100%以上を達成。前年度から12.7ポイントの増加。類似団体平均値：公共87.33%、農集135.47%



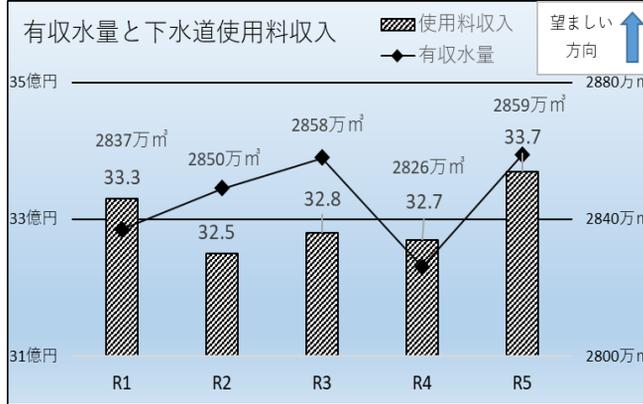
污水处理費用を使用料収入で賄えているかを示す指標。公共・農集ともに污水处理費は減少。数値は前年度から公共は5.41ポイント増加、農集は4.51ポイント増加。類似団体平均値：公共98.36%、農集24.74%



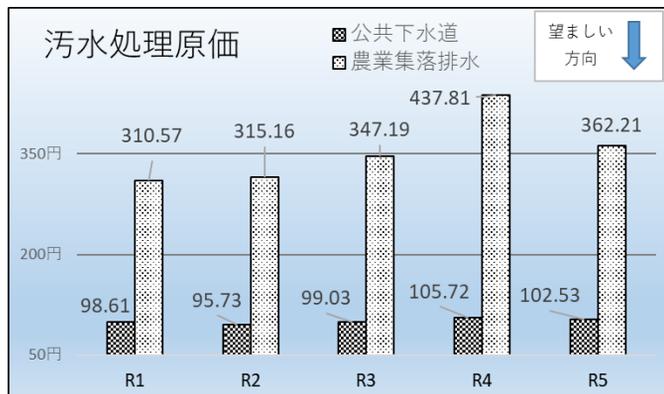
一般会計負担金、補助金及び出資金の合計額。一般会計からの繰入は、原則として繰出基準に基づく。収益的収支に係る雨水事業費の減少により、前年度から2.7億円減少した。



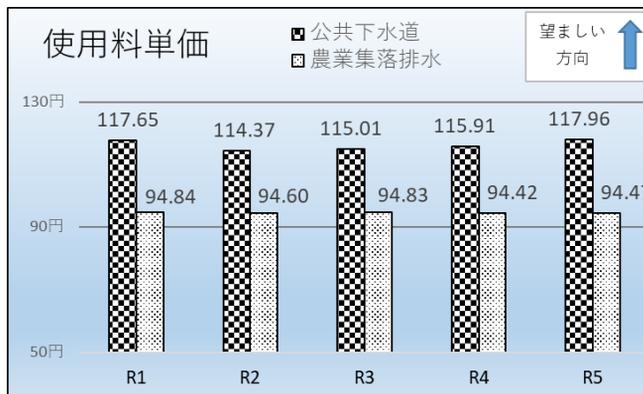
計画的な償還により、前年度から未償還残高は20億円減少、1人あたりの企業債残高も8千円減少した。類似団体平均値(1人あたり企業債残高)：公共10.2万円/人、農集15.9万円/人



有収水量は前年度から33万m³増加した。累進増徴制の下水道使用料は、家庭の排水量の減少以上に事業用の排水量が増加し、前年度から1億円増加した。



污水处理原価 有収水量1m³あたりの污水处理費。類似団体平均値：公共142.11円/m³、農集321.40円/m³



使用料単価 有収水量1m³あたりの使用料収入。類似団体平均値：公共115.16円/m³、農集79.29円/m³